

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-07-05
事務事業名	居宅介護支援運営事業		
		根拠法令・要綱等	介護保険法
事業開始年度	平成9年～		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先
	中項目 基本施策	健やかで生き生きしたまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	病院事業	職・氏名
			主査 藤森勝一
			電話
			63-9300

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	介護保険法に定めるところによる、65歳以上(第1号被保険者)または40歳以上(第2号被保険者)で要介護認定され、介護サービスを希望される方。
目的(何のために)	利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようにする。
行政活動(どのような方法で)	介護支援専門員が利用者宅を訪問、又は電話等により、訪問介護・通所介護等の利用についてのサービス計画を利用者及びその家族と協議すると共に、介護相談にも応じる。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	利用者が自立した日常生活を営むことができるようにする。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	ケアプラン作成件数		件	387	378	336
	直接事業費		千円	227	2,180	349
	人件費			3,225	2,927	4,567
	事業費計			3,452	5,107	4,916
	国保連・介護報酬			3,452	5,107	4,916
	受給者負担		千円			
	市一般財源			0	0	0
	必要人員		人	0.75	1.30	1.01
	結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績
ケアプラン作成件数		説明	備前さつき苑指定居宅介護支援事業所	ケアプラン作成件数		
結果指標量		人		387	378	336
対前年比		%		-	97.7%	88.9%
活動コスト		円		3,452,000	5,107,000	4,916,000
結果指標	単位当たりコスト	円		8,920	13,511	14,631
	結果指標量	人				
	対前年比	%		-		
活動コスト	円					
単位当たりコスト	円					

事業の成果			
成果指標名	ケアプラン1日当たり作成件数	式又は説明	年間作成件数 / 245日(年間245日で換算)
成果指標量	17年度	18年度	19年度
	1.58	1.54	1.37
対前年比		97.67%	88.89%
到達目標値	1.95	到達目標年度	20年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	介護保険法に基づいて事業を実施しているため、目的及び対象については妥当である。現在、民間にも同様な施設があるが、この施設は通所、入所等との関連性が高くなるためどの施設も複合的な施設経営の中で行われており、当施設も同様、その利用状況から見て本市の関与は妥当と思われる。また、少子高齢化が進行している中、今後ますます需要増が見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない	効率性評価<A-E>	課題認識
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	有効性評価<A-E>	課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
市の関与	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	ケアプラン作成件数が年々減少し、反対に単位あたりのコストは増加傾向にあるため、効率的な事業へ取り組みを検討する等、これまで以上に職員の資質向上を図る必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
コスト	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が当たらない	有効性評価<A-E>	課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
手	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A-E>	課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
職	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A-E>	課題認識
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	有効性評価<A-E>	課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している	有効性評価<A-E>	課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
市民参画度			

平成20年度の状況		説明	新規利用者の増加を図る。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	1.37	結果指標量
成果指標量			1.95

総合評価		評価区分<A-E>	C
少子高齢化に伴い、老人介護の必要性は今後ますます増大していくと思われる。そうした中、利用者により一層安心してもらえるようサービスの充実を図ると共に、利用者の自立を促し、家族の負担を軽減できるよう、更なる努力をしていく必要がある。また、単位当たりのコストが増加傾向にあり、経費の節減にさらに努めなければならない。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらなる重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	計画策定数の増加	随時	コストの削減
有効性	新規計画策定者の確保	随時	利用者の自立及び家族の負担軽減が図れる。